

YOSANO

広報よさの No.132



今月の表紙

平成 29 年与謝野町成人式

(1月8日撮影)

●主な記事

- 02 特集 アベリスツイス交流事業
- 04 平成 29 年与謝野町消防団出初式
- 06 特集 平成 29 年与謝野町成人式

2

2017

特集

24年目を迎えた

アベリスツイス交流事業

高校生派遣事業



歓迎レセプションでの記念撮影

アベリスツイス交流事業とは

この交流事業は、第2次世界大戦中、日本軍の捕虜となり大江山ニッケル鉱山で労働を強いられた英国軍兵士の故フランク・エバンス氏が、昭和59年に旧加悦町を訪問し、大江山運動公園に平和を願う慰霊碑を建立したことをきっかけに始まり、平成4年から友好の架け橋として高校生との相互派遣交流を進め、年々交流が深まっています。平成28年度までにアベリスツイスの高校生57人、与謝野町の高校生70人や双方の友好協会などの関係者が、交流や体験を通じてお互いの国の歴史・文化・生活・習慣などを理解することが出来る貴重な機会となっています。また日本という国を改めて見直し、戦争のない平和な世界を目指す人材の育成といった大きな目的も持っています。

今年度は平成28年10月23日から11月3日の12日間、町内在住の高校生6人を英国・ウェールズのアベリスツイスに派遣し、ホストファミリーのみなさんや高校生との交流を深めました。

12回目の派遣となる今回はこんなことがありました

その1
高校生派遣事業がウェールズの全国ニュースに！

水曜日に開催されるマーケットが有名な近隣の町、Machynllethを訪れた時、ウェールズの全国ネットのテレビ局による取材を受けました。高校生達は、笑顔を忘れず、積極的に英語でインタビューに答え、この交流事業の意義をウェールズ中に伝えました。交流事業の様子は、その歴史とともに、その日の夜のニュースで紹介され、ウェールズでも大切にされている事業であることをあらためて実感しました。

その2
交流の歴史を物語る貴重な資料

アベリスツイスにある国立資料館(National Library)では、故フランク・エバンス氏が寄贈された、旧加悦町との交流を物語るたくさんの資料を見せていただきました。友好協会のみなさんとの心

温まる手紙のやりとりを目の当たりにし、これらを資料として大切に保管していただいていることに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

その3
大盛況だった歓迎レセプション！

10月28日夕方から行政・学校関係者、現地友好協会会員やホストファミリーのみなさんによる歓迎レセプションが催され、大歓迎を受けました。

本町の高校生たちは、一人ひとり、英語で自己紹介のスピーチを行ったあと、感謝の気持ちを込めて、猛練習したヒップホップダンスと書道パフォーマンスを披露し、拍手喝采を受けて会場は大盛り上がりになりました。高校生達の頑張りがたくさん笑顔を生み、有意義な交流事業になりました。



上/テレビ局による取材の様子
下/見事な書道パフォーマンスを披露しました



文化・宗教の違いを感じて 宮津高校1年 三田 暁 (みた あき)

交流事業で私が特に感じたことは「文化・宗教の違い」です。ウェールズではキリスト教を信仰していて、週に一度は必ず家族で教会に行きます。それが習慣として根付き、自分はキリスト教徒だという自覚を持っています。一方日本では、主に仏教を信仰していますが、自分が仏教徒だという自覚が少ないように思います。今、世界で様々な宗教問題が起こっている中で、宗教感の違いを肌で感じる事ができました。次に「食のこころ」についてです。ウェールズの人たちは食べ物を残すことにあまり躊躇しません。しかし日本人である私たちの中には、「もったいない」という心があり、食べ物を残すことに抵抗があります。日本人が持つ「もったいない」という心はとても価値があり、大切なことだと実感しました。交流事業の成果として、私たちが学ぶだけでなく、向こうの高校生も与謝野町について知りたいという気持ちが芽生えたことだと思います。「お互いを知る」ことは、相手について知りたいと思うと同時に、自分のことも伝えたいという相互理解です。伝えるためには、まず自分の国や住む町について知らなければなりません。このことが、本当の意味での国際理解に繋がると 생각합니다。

伝え続けること 加悦谷高校2年 松田 開智 (まつだ かいち)

与謝野町とアベリスツイスの交流のきっかけを作ってくださったフランク・エバンスさん。戦争で日本に連れてこられ、強制労働による過酷な日々の中、大勢の間も亡くなられ、怒りと悲しみで辛かったはずですが、しかしエバンスさんは日本を許し、理解し、交流を深めようと努力されました。こうして今、2つの町が交流を続けられています。僕たちは戦争を経験したことはありません。教科書やテレビから学ぶ戦争を知っているだけで本当の戦争の恐ろしさを知りません。しかし、この交流を通して戦争について改めて深く考えさせられました。そして自分の考えを他国の人たちと共有することで、新たな発見もしました。この交流事業は、人々の協力があって生まれたことを忘れてはなりません。そのことをみんなに伝え広めていくことがこの研修に参加した僕たちの使命であると思っています。この交流を通して、自分は変わった気がしますが、しかし、変わったとしても以前と同じようにしては、何も意味がありません。僕たちが学んだこと伝え続けていくことで初めて変わるものだと思っています。交流事業は終わりましたが、自分たちが経験したことを次の世代に繋げるように頑張っていきます。

僕たちの次の課題 峰山高校2年 内田 大雅 (うちだ たいが)

僕はこの交流事業で、住む国、言語、宗教などが違う人たちとたくさん関わり、これからも世界が平和であり続けてほしいと強く感じました。両国が平和であるからこそ、僕たちがアベリスツイスに行くことができ、交流が続いています。それでもほかの国では紛争や戦争が起こっているところもあり、この問題をどう考えていくかが僕たちの次の課題だと感じています。交流事業に参加して、フランク・エバンスさんの伝えたいことが理解できたような気がしました。これからもアベリスツイスで体験したこと、思ったことなどをいろんな人に伝え続けたいと思います。今回、この事業で、応援して背中を押してくれた家族、友達、先生、随行してくれた役場職員さん、アベリスツイスで出会ったたくさんの人たち、そしてたくさんの方と一緒に学び、共有し、助け合った派遣団のみなさんと、この事業に関わることでできた人たちのつながりに感謝し、ずっと大事にしていきたいと思っています。文化交流だけでなく、それ以上のものもたくさん学ぶことができました。本当にありがとうございました！

高校生アベリスツイス訪問記

相手を理解すること 宮津高校2年 柴田 和佳 (しばた まどか)

私がこの交流事業に参加する前、アベリスツイス大学の学生をホストファミリーとして受け入れをしました。彼女の日本での生活に慣れようとする姿、初めて見る食べ物にも挑戦する姿に、その国の環境や文化・考え方は現地に行って体験してみないと分からないということに気づかされ、今回の高校生派遣事業に参加を希望しました。今回の交流事業を通して、私たちがすべきだと感じたことがあります。1つ目は、交流の背景について出来るだけ多くの人に知ってもらい、次の世代に伝えること。2つ目はお互いの文化を尊重し合うことです。育った環境、文化、考え方が違う人に自分の文化、考え方を押し付けるのではなく、相手の立場に立ち、良い道を探す。今思い返すと、事前に私たちとの文化の違いを理解していただいていたおかげで、私たちの現地生活は溶け込みやすいものだったのだと思います。交流事業は終わりましたが、フランク・エバンスさんの平和のメッセージ、今後の交流の在り方を自分なりに考え、発信していこうと思っています。そして、この関係を守っていくために、自分ができることを見つけていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

平和と幸せを感じて 峰山高校1年 堀江 真衣 (ほりえ まい)

参加するにあたり、はじめはうまく馴染めるかどうかとても不安でしたが、二度とできない貴重な経験をさせていただきました。今回の交流事業で、私は後悔しなくなかったので、勇気を出して話しかけるよう努めました。何事もチャレンジする気持ちで、心から伝えれば、相手に気持ちは伝わり、心を持って接することが本当に大切なことだと思いました。また「平和」や「幸せ」について強く考えました。かつては戦争があり、悲惨なこともありましたが、今では平和な社会になり、このような交流が行われています。こうして当たり前のように生活できていることが、当たり前でない事。その当たり前となっていることがどれだけ幸せな事か、フランク・エバンスさんをはじめ、この交流事業に関わっていただいた人から教えてもらった気がします。交流事業を終えた後も、アベリスツイスでできた友達と交流を続けていきたいです。そして、またいつか日本で会う機会があれば、日本を大好きになってもらえたらいいなと思っています。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。これからも未永く交流が続く、永久に平和が訪れますように。

繋がりによって 宮津高校1年 森本 このみ (もりもと このみ)

私たちはフランク・エバンスさんのお墓や、生家を訪れました。実際に目で見ることで改めてフランク・エバンスさんの意思やメッセージを体感することができたと思います。この地では日本語は通じず、見た目も違えば、信仰も異なります。しかし私たちは「友達」になることができました。人との繋がりで、このような「違い」は小さなことだと感じました。エバンスさんが伝えたかったのは、こういった事なのだと考えています。「この地でできた友達を失くしたくない」この考えが平和に繋がっていくのだと思います。戦争があった事実を無かったことにするのではなく伝えていく。そうして繋げてきたのが、この交流事業だと思っています。私は旅立つ前、「きっと変わる」と言われました。本当に変わることができ、より明確な目標を持つことができました。それは、より多くの「友達」をつくって「繋がりを」持つということです。そのことはきっと「平和」に繋がってくれるからです。世界を意識して物事を見ることができるようになったと感じています。この体験を多くの人に繋げ、私のような人が増えて、与謝野町とアベリスツイスの繋がりがこの先何十年と続いていけるよう努力していきたいです。

壇上で表彰を受ける
前与謝野町消防団長澤田尚登さん



○両丹都市消防協議会長表彰
谷垣 吉信 (加悦①/部長)
小田 正一 (加悦②/部長)
中島 正孝 (野田川①/部長)
堀江 健 (野田川③/部長)
糸井 康博 (野田川④/部長)

○京都府消防協会精勳章
森本 康範 (加悦③/分団長)
白敷 尊也 (岩滝①/分団長)
山添 宏明 (岩滝②/分団長)
糸井 宏輔 (岩滝③/分団長)
柴山 隆明 (岩滝④/分団長)

○京都府消防協会功績章
小牧 鉄昭 (本部/本部付分団長)
井上 毅 (加悦②/分団長)
川邊 真 (本部/本部付分団長)

○京都府消防協会功績章
足立 徹生 (本部/本部付分団長)
後藤 周作 (加悦①/班長)
中島 健徳 (野田川①/班長)
矢野 敦史 (岩滝③/班長)

■表彰者の皆さん (一部抜粋・敬称略)

○京都府消防協会丹後ブロック
消防連絡協議会長表彰

宮津与謝支部長表彰
宮津 紀人 (加悦①/班長)
吉岡 裕人 (加悦①/班長)
大槻 直哉 (加悦②/班長)
小田 大輔 (加悦②/班長)
岡田 吉紀 (岩滝②/班長)
四宮 浩示 (岩滝④/班長)
吉岡 敦文 (野田川①/班長)
宇野 智之 (野田川③/班長)
山崎 政樹 (野田川④/班長)
中村 靖男 (野田川④/班長)
由里 直樹 (野田川⑤/班長)

■退職者の皆さん (一部抜粋・敬称略)

○町長退職消防団員感謝状

澤田 尚登 有本 誠
今田 英規 井崎 有本
小面 淳 荻野 貴也
四宮 雅晴 小谷 拓也
有吉 哲也 藤原 孝博
長島 裕二 山添 大輔
倉島 義広 坂根 泰弘
石田 雅彦 中島 義記
山口 周作 坂根 義記
市田 明義 秋田 誠
三井 則子 井崎 洋之
茂籠 徳男 才本 恵介
青木 あゆ美 杉原 無我
坂本 文弥 小西 克治
石田 慎也 浪江 信明

○団長特別表彰

渡邊 三紀夫 (小型/指揮者)
小山 拓也 (小型/1番員)
高橋 康司 (小型/2番員)
木崎 高英 (小型/3番員)
坂根 茂樹 (ポンプ/指揮者)
南橋 貴啓 (ポンプ/1番員)
藤原 武豊 (ポンプ/2番員)
藤原 孝文 (ポンプ/3番員)
成毛 孝文 (ポンプ/4番員)

○京都府消防協会
退職消防団員感謝状

澤田 尚登 有本 誠
今田 英規 井崎 有本
小面 淳 荻野 貴也
四宮 雅晴 小谷 拓也
有吉 哲也 藤原 孝博
長島 裕二 山添 大輔
倉島 義広 坂根 泰弘
石田 雅彦 中島 義記
山口 周作 坂根 義記
市田 明義 秋田 誠
三井 則子 井崎 洋之
茂籠 徳男 才本 恵介
青木 あゆ美 杉原 無我
坂本 文弥 小西 克治
石田 慎也 浪江 信明

※括弧内は方面隊・分団名・役職名

平成29年与謝野町消防団出初式

与謝野町の安心・安全を願って。



「火災ゼロの町・与謝野町」
をスローガンに、消防団
は今年もがんばります！

与謝野町消防団出初式が平成29年1月8日、生涯学習センター知遊館一帯で開催され、消防団団員と消防関係者らおよそ150人が集まりました。式典では、植田泰史団長が「昨年の火災件数は与謝野町発足以来最も少ない数と同数だが、ゼロ件ではない。『火災ゼロのまち・与謝野町』を目指して、一歩踏み込んだ予防消防を徹底し、町民の安心・安全のため、『わが町は我々が守るんだ』という精神でがんばってもらいたい」と訓示。また、町長の式辞では「めざそう火災ゼロの町」をスローガンに、全団員一丸となって、消防団活動に積極的に取り組んでいただきたい」とあいさつ。功労者や優良団員に表彰状が伝達され、退職消防団員に感謝状が贈呈されました。

式典終了後、団員らは恒例の「分列行進」と「斉放水」を披露し、見学に訪れた地域住民と共に今年一年間の安心と安全を誓いました。



1. 式典で団旗に敬礼する団員 2. パレードには各分団の消防車両も参加 3. 阿蘇シーサイドパーク周辺で斉放水が行われました 4. パレードに参加した三河内小学校の子どもたち



与謝野町消防団員による敬礼

新成人インタビュー

新成人の皆さんに成人を迎えるの決意などを聞きました！（敬称略）



センターカラー 写真特集 与謝野町成人式

誓いを胸に迎える 新たな門出

新 成人の門出を祝う「平成29年与謝野町成人式」が1月8日、野田川わくくぼで開催されました。

今年の対象者は平成8年4月2日から平成9年4月1日生まれの297人で、この日は振り袖や羽織袴などに身を包んだ243人が式典に参加しました。会場には旧友との久しぶりの再会を喜ぶ新成人たちの笑顔があふれました。

式典では、山添町長が「世界の何処にあっても、与謝野町で生まれ育ったことに誇りを持ち、チャレンジ精神あふれるひとりの大人として、社会を歩まれることを期待します」と式辞を述べ、来賓からもはなむけの言葉が述べられました。その後、記念品の丹後ちりめんふくさセツが、町長から細見貴誠さん（温江）に贈呈されました。

最後に、新成人を代表して山崎郁弥さん（岩屋）が、「新成人になり、これまでの支えられる立場から支える立場になります。この地で育まれた力を発揮し、将来の日本を支えていくものとして、大切な財産である多くの子どもたちの笑顔を守り、夢や希望を与えられる大人になります」と力強く決意を込めて謝辞を述べました。



左ページ：1. 壇上で謝辞を述べる山崎郁弥さん
右ページ：1. お祝いの言葉を真剣な表情で聞き入る新成人 2. 旧友と談笑しながら会場入りする新成人たち 3. 華やかな振り袖姿で受け付けをする 4. 明るい笑顔で写真撮影に応じてくれた5人組 5. 式典後に山添町長を囲んでの記念撮影 6. 晴れ姿で一番の笑顔を披露してくれた三人 7. KYTの番組取材に応じる二人 8. 地域別に行われた記念撮影（男性） 9. 会場のいたるところで記念撮影をする姿がみられました 10. 参加した全新成人 11. 地域別に行われた記念撮影（女性） 12. 町長から記念品を受け取り握手する細見貴誠さん

毎年、年末になると私は家族と一緒にクリスマスと新年を祝うためにアメリカへ帰国します。4人家族ですが、今は2匹の犬を飼っていて、一緒にテレビを見たり遊んだりします。今は2匹の犬しかいませんが、フローレス家ではたくさんのペットを飼ってきました。私たちがペットと暮らし始めたのは、メキシコに住んでいた5歳の頃でした。その年のクリスマスに、私と兄がサンタクロースに犬が欲しいとお願いすると、クリスマスに可愛いダックスフンドがやってきて、「チェスター」と名付けました。6歳のときには、農場を訪ねて金魚とニワトリを貰い、7歳のときは、亀を貰いました。さらに、翌年のクリスマスは2匹のハムスターを貰い、両親は「私たちの家は動物園だ」といつも冗談を言っていました。



私と犬のリリーです

アメリカに引っ越したとき、ペットはひいおばあさんとメキシコに残ったので、とても悲しく、学校が休みになる度にメキシコに行き、ペットとの楽しい時間を過ごしました。しかし、アメリカに帰ると寂しくもなりました。それを見かねた父が、私たちがアメリカで過ごす初めてのクリスマスに子犬をプレゼントしてくれました。私は「クッキー」と名付け、10歳になる頃に「キャンディー」と「シュ

ガー」という2匹の犬も家族に加わりました。私は特にクッキーとは仲良しで、夜はいつも一緒に寝ていました。

私たちは一昨年まで4人と3匹で暮らしていましたが、ある嵐の日に家の玄関前に犬が座っていました。父はその犬を家の中に入れ「リリー」と名付けました。リリーが家族に加わった後すぐ、クッキーとキャンディーが癌で亡くなりましたが、リリーの元気な姿が皆に元気を与えてくれました。このため今年は、いつも家の中で走っていたクッキーとキャンディーがいまいませんでした。クッキーは朝私を起こしに来ませんでしたし、キャンディーは新聞を取って来ませんでした。しかし、新しく家族に加わったリリーのおかげで寂しさをあまり感じませんでした。私の家族は皆、フローレス家では犬を飼うことが必要だと思っています。

犬はとても賢いので人間の良い友人になります。犬は人間と遊ぶことが出来る動物というだけではなく、家族を繋ぐ重要な役割になると思います。

私は、普段日本で暮らしているのだから家族を恋しく思っています。同じくらい犬たちのことも恋しく思っています。私は、犬がいない生活だと「何か足りない」と感じるの

で、将来は必ず犬を飼いたいと思っています。皆さんの家には、家族と呼べるペットはいますか？

時の贈り物 [第89回 春待つ小鳥～梅の襖絵]

ちりめん街道・旧尾藤家住宅の奥蔵に残されていたさまざまな襖絵の中から、江戸時代の京都で活躍した松村景文(まつむらけいぶん) (1779年～1843年) が描いた「白梅に小禽図」(与謝野町指定文化財) を紹介します。うす霽のかかった梅林の中、長く枝を伸ばした白梅が枝先に花をつけ、幹にはヒヨドリとヤマガラが止まっています。現在は野生の鳥を捕獲することは禁止されていますが、ヒヨドリ・ヤマガラともに人に良く懐き、平安時代には貴族たちが愛玩したといえます。特にヤマガラは学習能力が高く、一昔前までは神社の境内などでおみくじを引かせる芸などを披露していました。松村景文は与謝蕪村に学んだ呉春の異母弟にあたり、呉春の後を継いで四条派の画風を確立しました。梅の幹は「付け立て」と呼ばれる、筆の側面を使う描法で濃淡を付けながら一筆で描かれており、画面全体に躍動感を与えるとともに、花や鳥たちの存在感を高めています。



松村景文筆「白梅に小禽図」文化後半(文政一八〇〇～三〇)頃 紙本墨画淡彩 襖四面 与謝野町指定文化財

景文の襖絵は、江上文庫で開催中の企画展「与謝野動物園」で2月から展示しており、3月26日までご覧いただけます。(与謝野町教育委員会)

図書館へ行こう!

鬼が出てくる本

2月の行事である節分に欠かせないのが「鬼」。鬼は、日本の昔話や物語には欠かせない存在です。怖いものやユーモラスなもの、いろんな姿を見せる鬼の姿が描かれた本をご紹介します。

『鬼談』

京極夏彦/角川書店



鬼とはいったい何なのか。人が人と思うほどにその強さが執着となって、人は鬼になるのだ…。多くの怪談を綴り、妖怪研究家としても知られる作者が、人間の心に潜む闇と生と死、人と鬼の狭間を描いた全9篇の短編集。

『妖怪ぞろぞろ俳句の本-鬼神・超人-』

古館綾子、山口マオ/童心社



自然の感動を詠むのが俳句ですが、鬼や閻魔大王など一見あれ?と思うようなテーマで有名な俳人たちが多くの句を残しています。日本の豊かな自然や暮らしが生み出した妖怪たちを通して、どんな思いを伝えようとしたのでしょうか?

『やさいのおにたいじ』

つるたようこ/福音館書店

この絵本に登場する鬼はこんにゃくもで、助けにいく侍たちは、ほりかわごぼうに、きんときになじん。京野菜たちが大活躍する大江山の鬼退治は、元のお話を踏まえつつ野菜ならではの場面もあり、大人も子どもも楽しめます。



『オニのサラリーマン』

富安陽子、大島妙子/福音館書店

地獄で亡者たちにひどい仕打ちをする鬼たち。それが実は地獄カンパニーのサラリーマンだったのです。毎日スーツを着て満員バスでご出勤。閻魔大王に挨拶したあとは、血の池地獄で見張り番のお仕事を始めるのですが…。



- 今月の新着図書
- 『子どもといっしょにコンピュータとプログラミングを学ぶ本』矢沢久雄/日経B P社
 - 『介護殺人』毎日新聞大阪社会部取材班/新潮社
 - 『あったかボディでリラックス』木村容子/NHK出版
 - 『超入門! やせるおかず作りおき』柳澤英子/小学館
 - 『いまの科学で「絶対がいい!」と断言できる最高の子育てベスト55』トレーシー・カチロー/ダイヤモンド社
 - 『おんな城主直虎1』森下佳子/NHK出版
 - 『本バスめぐりん。』大崎梢/東京創元社
 - 『魔法使いと副店長』越谷オサム/徳間書店
 - 『おね (全2巻)』田淵久美子/NHK出版
 - 『ふくはなにからできてるの?』佐藤哲也/福音館書店
 - 『すなばば』鈴木のりたけ/PHP研究所
 - 『小学校の生活』はまのゆか/学研プラス
 - 『なつみはなんにでもなれる』ヨシタケシンスケ/PHP研究所
 - 『ぼくたちはなぜ、学校へ行くのか。』マララ・ユスフザイ/ポプラ社
 - 『火災のサバイバル』スウィートファクトリー/朝日新聞出版
 - 『モンスター・ホテルでそっくりさん』柏葉幸子/小峰書店
 - 『14歳』小林深雪/講談社
 - 『スター・オブ・デルトラ1』エミリー・ロッド/KADOKAWA

Info 図書館おはなし会

[加悦] 2月11日(土・祝) 午前10時30分～

[野田川] 2月18日(土) 午前10時30分～(紙芝居の日)

江上文庫読書会 与謝野晶子の童話を読む

第58回「鴨の氷滑り」

■日時 2月24日(金) ※毎月第4金曜日 午後1時30分～3時

■お問い合わせ先 江上文庫 ☎43-2180

図書館臨時休館のお知らせ

図書館は蔵書点検のため、下記のとおり臨時休館します。休館中はご不便をおかけしますが、ご理解ご協力の程よろしくお祈いします。

【休館期間】 ●加悦分室、野田川分室 2月15日(水)～17日(金)

- 問い合わせ先/与謝野町立図書館 ☎46-2451 加悦分室 ☎43-0376 野田川分室 ☎43-0087
- 開館時間/午前10時～午後6時 ●休館日/毎週月曜(本館・加悦分室)、毎週火曜(野田川分室)、毎月最終木曜(共通)

まちの話題をお届けします



●女性創業セミナー

女性の一步が、夢の実現と地域の活性化に！

10月30日から12月18日の間、「地域とわたしを元気にする。想いをかなえる一歩ふみだしませんか」をテーマに、商工会主催の女性創業セミナー（全7回）が開催されました。町内在住者をはじめ、宮津市や京丹後市からも創業を目指す女性が多数参加し、講師から「活かせる地域資源の見つけ方やコンセプト作り」、「人材育成と販路開拓方法」など、創業に必要な知識について学ばれました。



熱心に講義を聞く参加者

まちのイベントのご案内

与謝野町の環境未来2017

与謝野町の住民を対象に、私たちの暮らしを見つめ直し、自然環境を守る方法を考えるきっかけとして、『与謝野町の環境未来2017～聞こう・学ぼう・考えよう 環境は身近な生活から～』と題して環境イベントを開催します。

開会直後に、アルピニストの野口健さんによる講演があります。講演後は、NPO法人国際ボランティア学生協会とNPO丹後の自然を守る会によるトークセッションおよびエコキッズ与謝野、よさの百年の暮らし委員会による環境保全等の取り組み発表があります。また、イベント終了時まで、ご参加いただいた皆様に、京の豆っこ米3合をプレゼントします。身近なところから私たちの暮らしを見直すきっかけにしてみませんか？



■日 時 2月26日(日) 午後1時30分～5時
 ■場 所 野田川わーくぱる
 ■費 用 入場無料

☎ 住民環境課 ☎43-9030

与謝野郷土芸能祭

与謝野町合併10周年記念事業の締めくくりとして「与謝野郷土芸能祭」を開催します。当日は、商工会料飲業部のフードブースが出展され、飲食もお楽しみいただけます。



■日 時 3月19日(日) ▶午前の部：午前11時～ ▶午後の部：午後1時15分～
 ■会 場 農協野田川支店前(大行列スタート地点)、野田川わーくぱる
 ■内 容 郷土芸能の上演、郷土芸能写真展、丹海ボンネットバス展示
 ■出演団体 ▶午前の部：岩滝大行列保存会
 ▶午後の部：大命神社笹ばやし保存会、加悦神楽保存会、下山田郷土芸能保存会、東町岩滝大神楽保存会、石田大刀振り保存会
 ※その他 ・駐車場の台数に限りがありますので、ご来場の際は丹海バス利用券(チラシ掲載、「四辻・農協前」下車)をご利用ください。
 ・農協野田川支店前～野田川わーくぱるの区間は、午前11時～正午まで通行止めとなります。

まちの職員を募集しています

与謝野町職員(保健師)の募集

■受験資格 昭和56年4月2日以降に生まれた方で、保健師の有資格者または平成29年3月末までに資格取得見込の方
 ■応募期間 1月25日(水)～2月20日(月) ※午後5時必着
 ■提出先 職員採用試験申込書に必要書類を添えて総務課へ提出してください。
 ■試験日 3月5日(日) [平成29年4月1日付採用]
 ※詳しい情報は、町ホームページをご覧ください。総務課 ☎43-9010 までお問い合わせください。

健やか広場

▶冬の健康管理～脳梗塞や心筋梗塞を防ごう～

いよいよ冬も終わりますが、みなさん体調はいかがですか？冬はグッと冷え込むことが多く、私たちの身体にとって過剰しやすい環境ではありません。何気ない行動が、大きな病気を引き起こす引き金になることもあります。今回は、冬に注意したい2つのことをお話しします。

油断は禁物「冬のかくれ脱水」

「脱水」といえば夏のイメージですが油断は禁物です。冬の「かくれ脱水」は、水分が身体からジワジワと失われることにより起こります。

Q. なぜ「かくれ脱水」になるの？

A. 冬は乾燥した気候が続きます。外気が乾燥すると、知らず知らずに皮膚や粘膜、呼吸から水分が失われていきます。また、夏は汗をかいて「水分を補給しなければ」という意識が働きますが、冬は「汗をかいてない」「飲んだらトイレが…」と水分摂取を控える方が多いようです。

Q. 「かくれ脱水」の症状は？

A. 最初は「口の中がネバネバする」「だるい」といった症状から始まります。放っておくと「食欲低下」や「立ちくらみ」などが起こります。さらに悪化すると「脳梗塞」や「心筋梗塞」

塞」のリスクが高まります。水分が失われたことにより血液がドロドロになり、血管が詰まりやすくなるためです。

Q. 「かくれ脱水」を防ぐには？

- A. ①室内が乾燥しないような工夫をしましょう
- ▼加湿器を置く。
 - ▼洗面器に水を張り、タオルを半分つけておく。
 - ▼石油ストーブにやかんをかける。
 - ▼洗濯物を干す。
- ②飲み物や食べ物で水分補給しましょう
- ▼喉が渇いていなくても、意識してこまめに水分を摂りましょう。入浴前、起床時、夜中にトイレに起きたときなどにも水分補給をしましょう。
 - ▼ほうれん草や小松菜、みかんやりんごなど、水分や電解質が豊富な物を食べましょう。

死亡の原因にもなる「ヒートショック」

急に身体が冷やされたり温められたりすることによって、急激に血圧が上昇または下降したり、心拍数が速くなったりする状態を「ヒートショック」と言います。脳出血や脳梗塞、心筋梗塞などの深刻な病気を引き起こすことがあり、日本では年間1万人以上が「ヒートショック」が原因で死亡しているとされます。

Q. どんときに「ヒートショック」を起こしやすい？

- A. 「ヒートショック」が起こりやすい場所が多いのは、風呂、脱衣場、トイレです。どんときに起こしやすいのか、次の事例をご覧ください。
- ▼暖かいリビングから、寒い廊下やトイレに行く。
 - ▼暖かいリビングから、寒い脱衣場に入り服を脱ぐ。
 - ▼寒いトイレでいきみ過ぎたり、いきなり立ち上がる。
 - ▼寒い脱衣場から風呂場に入り、一気に熱いお湯につかる。
 - ▼風呂場で温まった後、寒い脱衣場で冷たい空気にさらされる。
 - ▼飲酒によって血圧が下がっているときに入浴する。

「ヒートショック」を起こしやすい人は？

A. 特に注意が必要なのは、①65歳以上の②高血圧・糖尿病・動脈硬化である人です。特に高齢者は血管が弱くなっていて、血圧の上昇によって脳出血を起こしやすいので注意が必要です。

Q. 入浴時の「ヒートショック」を予防するには？

- A. ①脱衣場、浴室内を温めてから入浴
浴室暖房機がない場合は熱めのシャワーを浴室内に出し、蒸気で暖めましょう。シャワーのないご家庭では、浴槽に熱めのお湯を溜め、入浴までの間ふたを開けるなど工夫し、脱衣場もヒーターや他の部屋からの暖気を使って入浴前に暖めましょう。
- ②身体に負担のかからない入浴法
- ▼熱すぎないお湯で入浴しましょう。
 - ▼冷えている一番風呂は避けましょう。
 - ▼食後すぐや飲酒後の入浴は避け、入浴時のコンディションを整えましょう。また、入浴前に水分を補給し、血液がネバネバになるのを防ぎましょう。

★水分補給と温度差に注意を払い、厳しい冬を安全に過ごしましょう。



人権に関することはお気軽にご相談ください

☎ 住民環境課 ☎ 43-9030

平成29年1月1日付
 山口 薫氏（温江）
 が人権擁護委員に再委
 嘱されました。

人権擁護委員とは、
 地域で人権思想を広
 め、人権侵害が起きな
 いように見守り、人権
 を擁護していく法務大
 臣が委嘱した民間のボ
 ランティアの方々で
 す。いじめ、差別、セ
 クハラ、DV、その他
 人権に関する問題でお
 悩みの方は、身近な人
 権擁護委員や法務局
 （☎22・2561）へ
 お気軽にご相談くださ
 い。



山口 薫 委員（再任）

人権擁護委員の紹介

阿蘇海の環境改善を考えました

第9回阿蘇海環境改善ポスターコンクール

☎ 住民環境課 ☎ 43-9030



町長賞の田中さんの作品

阿蘇海の水質汚濁が深刻化している今、京都府、関係市町村、地域住民が様々な分野で協働して環境改善に取り組みんでいます。

その啓発の一環として、与謝野町内の小学校児童の皆さんから阿蘇海や近隣河川の環境改善を推進する啓発ポスターを募集しましたところ、町内全小学校から198人の応募がありました。

審査の結果、入賞作品20点が決定しました。これらの作品は啓発カレンダーにして全戸配布しています。入賞作品と入賞者は次のとおりです。

（敬称略）

阿蘇海をきれいに



教育長賞の谷口さんの作品

- | | |
|--------|----------|
| 田中 千紘 | （与謝小4年） |
| 谷口 心彩 | （三河内小4年） |
| 井崎 音寧 | （与謝小5年） |
| 小谷 海月 | （与謝小5年） |
| 杉本 朱里 | （与謝小5年） |
| 勢篠莉央那 | （与謝小5年） |
| 面原亜由佳 | （与謝小5年） |
| 山本 彩愛 | （与謝小5年） |
| 小田 朔至 | （与謝小4年） |
| 小西 我空 | （与謝小4年） |
| 倉 陸翔 | （桑飼小4年） |
| 倉 愛莉紗 | （石川小6年） |
| 小室 風沙 | （石川小6年） |
| 寺内 そら | （石川小6年） |
| 中西 未来 | （石川小6年） |
| 福山心花里 | （石川小6年） |
| 井崎 李美 | （三河内小4年） |
| 采尾さくら | （三河内小4年） |
| 佐々木こころ | （三河内小4年） |
| 高田 夏鈴 | （三河内小4年） |

「京都環境フェスティバル2016」に参加しました

与謝野町婦人会

☎ 住民環境課 ☎ 43-9030



エコたわし作りをする婦人会の皆さん

京都府などで行われる実行委員会主催で、府内の各地域で活動する各種団体や学校、企業等が出席して、環境について楽しみながら、学び考えることができる参加・体験型イベント「京都環境フェスティバル2016」が12月10日（土）、11日（日）に京都市伏見区の京都パルスプラザで開催されました。

27回目の今年も府内の市民団体や学校、企業など約125団体が出展され、当町からは、与謝野町婦人会が環境に係わる事業や環境学習についてポスター展示し、来場された皆さんに、エコたわし（指編み）の作り方を指導されました。展示・体験ブースには家族連れも多く訪れ、環境問題への理解を深めるきっかけづくりに貢献しました。

功績・功労をたたえて



山添 政就 氏

株式会社山政が紺綬褒章を受章され、12月26日、代表取締役山添政就氏（石田）に伝達されました。

紺綬褒章は、公的機関や公益団体などに対して、公益のために多額の私財を寄付された方に国から授与される褒章です。今回の受章は、一昨年の11月、株式会社山政が「町政の発展のため、とりわけ産業の振興、人材育成に役立ててほしい」と、与謝野町に多額の寄付をされたことによるものです。

紺綬褒章
が贈られました

法務大臣感謝状
が贈られました

平成17年4月から長きにわたり人権擁護委員として当町の人権意識の高揚と人権擁護行政に尽力された吉田均氏（明石）が昨年11月に逝去されました。

吉田氏は小学校教員の経験から子どもの人権に高い関心を持たれ、次代を担う子どもたちが正しい人権意識を育むための取り組みに積極的に従事されました。また、その穏やかな人柄と的確な指導力は、宮津与謝地域の人権擁護委員からの人望も厚く、常に中心的・指導的な役割を果たして来られ、この長年の功績に対し、法務大臣から感謝状が贈られました。

ここに謹んでお知らせしますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

12月入札結果

☎ 総務課 ☎ 43-9010

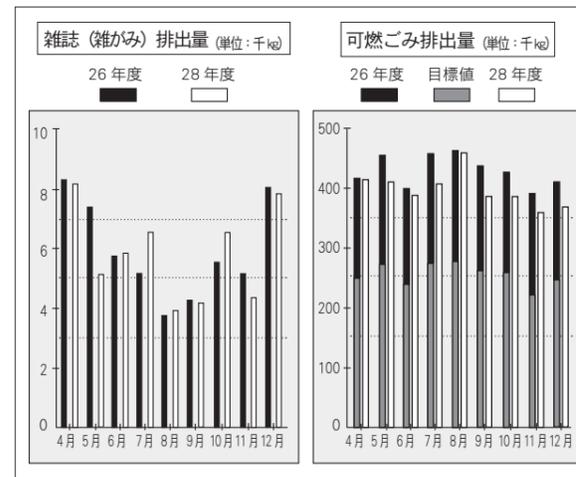
入札日	工事名	場所	業者数	落札業者名	予定価格 (千円/税別)	最低制限価格 (千円/税別)	落札金額 (千円/税別)	落札率 (%)	工事期間
12/27	鞭谷川バイパス水路改良（その3）工事	石川	5者	株式会社建設	26,800	23,513	23,513	87.7	H29/1/12 ~ 3/31
12/27	四辻縄手線側溝改良（その1）工事	四辻	13者	株式会社アイフル	3,511	3,050	3,050	86.8	H29/1/11 ~ 3/31
12/27	海岸線1号橋橋梁補修工事	岩滝	9者	有限会社野口建設	3,359	2,890	2,890	86.0	H29/1/11 ~ 3/31
12/27	西外中屋線道路修繕工事	加悦奥	11者	株式会社山添電気	2,623	2,278	2,278	86.8	H29/1/13 ~ 3/31
12/27	町宮安良団地設備等改善工事	加悦奥	8者	砂後建設株式会社	8,590	7,727	7,731	90.0	H29/1/13 ~ 3/31
12/27	与謝野町消防団加悦第3分団車庫詰所舗装工事	温江	4者	金下建設株式会社	8,370	7,266	7,266	86.8	H29/1/13 ~ 3/31
12/27	大浜線・寺田線FWD調査業務委託	男山他	15者	株式会社ソーギケン	1,438	-	1,300	90.4	H29/1/13 ~ 3/31



12月の可燃ごみ・雑誌（雑がみ）排出量の報告

シリーズ⑱ ごみについて考える

☎ 住民環境課 ☎ 43-9030



ごみ量の比較

平成25年度から平成29年度までの5年間に減量しようとする目標で、これを1年足らずで達成したことになります。

一方の雑誌（雑がみ）の排出量を、減量の比較対象である平成26年度と比べて報告します。

可燃ごみは、今月は約9%減量と、比較的高い減量率となつています。4月からの通算では約6・7%減量と、通算減量率は今年度で最も高くなつています。6%の減量といえ、町の総合計画で

平成25年度から平成29年度までの5年間に減量しようとする目標で、これを1年足らずで達成したことになります。

一方の雑誌（雑がみ）の排出量を、減量の比較対象である平成26年度と比べて報告します。

可燃ごみは、今月は約9%減量と、比較的高い減量率となつています。4月からの通算では約6・7%減量と、通算減量率は今年度で最も高くなつています。6%の減量といえ、町の総合計画で

与謝野町役場
☎ 43-9000 (代表)

総務課
☎ 43-9010
防災安全課
☎ 43-9011
商工観光課
☎ 43-9012
会計室
☎ 43-9013
建設課
☎ 43-9014
企画財政課
☎ 43-9015

加悦庁舎
☎ 43-9001 (代表)

税務課
☎ 43-9020
福祉課
☎ 43-9021
保健課
☎ 43-9022
農林課
☎ 43-9023
子育て応援課
☎ 43-9024
教育委員会 学校教育課
☎ 43-9025
教育委員会 社会教育課
☎ 43-9026
議会事務局
☎ 43-9027
CATV センター
☎ 43-9028

野田川庁舎
☎ 43-9002 (代表)

住民環境課
☎ 43-9030
上下水道課
☎ 43-9031

岩滝最終処分場焼却炉の運転を再開しました

☎ 住民環境課 ☎ 43-9030

岩滝最終処分場に設置の焼却炉で排ガスからダイオキシン類対策特別措置法に定められた基準を超えるダイオキシン類を検出したため、平成28年4月1日から運転を休止しておりましたが、焼却物のチエック体制の強化や炉内清掃を実施する等の対策を講じたところ、次のとおり排出基準以下の結果となりました。つきましては、1月13日(金)から通常運転を再開しましたのでお知らせします。

■試運転の結果
ダイオキシン類(排ガス)
0.10ng-TEQ/m³

※ダイオキシン類対策特別措置法に定める排出基準
10ng-TEQ/m³

与謝野シルクプロジェクト推進協議会

☎ 商工観光課 ☎ 43-9012

与謝野町では、新しい視点での産業振興策として、「与謝野ブランド戦略」事業を推進しており、各種プロジェクトを進めています。その一環として、桑園整備、養蚕を行い、シルクを商材とした六次産業化を図るシルクプロジェクトの検討を進めてきました。本プロジェクトを実現・推進していくための組織となる「与謝野シルクプロジェクト推進協議会(事務局・与謝野町商工会)」の設立総会が1月10日に与謝野町商工会で開催されました。

与謝野シルクプロジェクト推進協議会メンバー

▼会長 足立 経彦氏
▼メンバー 安田 章二氏
岡本 勝司氏
野村 政伸氏
安田 智幸氏

地域おこし協力隊通信⑱

ツバキエリア担当 原田美帆隊員 ☎ 商工観光課 ☎ 43-9012

こんにちは、与謝野町地域おこし協力隊員第1号の原田美帆です。大雪があけて、白く包まれた町の美しいこと！雪そのものの白さより、輝いて見えました。人生初の雪すかしも、雪道運転も、新鮮な体験です。

1年前から取り組んでまいりました椿サミット記念事業のセレモニーを開催いたしました。ご協力者の皆さま、町の皆さま、是非ご参加ください。色とりどりのさきおりトートバッグと一緒にお待ちしています。

第26回全国椿サミット
与謝野大会記念事業
「椿がつなく千人さきおり」
トートバッグ寄贈式

■日時 2月23日(木)
午前10時(30分程度)
■場所 知遊館

職員人事異動

平成28年12月31日付の職員人事異動についてお知らせします。

●12月31日付退職
【社会教育課】
主事 濱村 歩

町内河川の水質はほぼ良好

平成28年度河川水質調査結果 ☎ 住民環境課 ☎ 43-9030

町では、年に一度町内を流れる河川の水質検査を行っています。検査結果は、河川の汚れの程度を表す「BOD(生物化学的酸素要求量)」で示します。BODとは、微生物が水中の汚濁物質を分解するために必要とする酸素の量で、値が大きいほど水質汚濁が著しいことを表します。

平成28年度の検査結果は、昨年度と比べ全体的に良好で、亀山川の数値も、昨年度との比較では下がっており、良好な状態でした。また、基準の2・0を超える河川はありませんでした。

表を見ると、10年前の平成18年度は全体的に高い数値でしたが、近年は良い方向に向かっていくことがわかります。

阿蘇海の浄化に向けての取り組み

阿蘇海の周辺地域では、美しい阿蘇海を取り戻そうと地域や各種団体の皆さんで様々な取り組みを進めています。抜本的な解決にはつながりにくく、地域住民や関係団体、

行政が一体となって総合的な取り組みを進める必要があります。

平成19年に京都府、宮津市、与謝野町をはじめ有識者や自治会など阿蘇海を取り巻く幅広い分野の団体が集まり立ち上げた「阿蘇海環境づくり協議会」では、啓発パンフレットの作成や、浅水代かき(田んぼの代かき時の水量を必要最小限にすることにより、代かき後の落水を必要とせず、肥料等の流出が抑制される)の実演会等を開催してその普及を図るなど、各組織で連携を強めています。また、町内で天ぶら油の回

町内各河川のBOD値経年変化

(単位: mg/l)

採取場所	18年度	26年度	27年度	28年度
奥山川	1.4	0.6	0.6	1.0
岩屋川	1.1	ND	0.9	0.5
水戸川	0.7	ND	ND	ND
香河川	0.7	ND	0.5	0.6
堂谷橋	0.8	ND	0.7	0.5
大江山橋	0.5	ND	0.5	ND
三村橋	0.7	ND	0.8	ND
岩滝橋	0.7	ND	ND	ND
滝川	ND	ND	0.6	ND
温江川	0.6	ND	0.5	ND
加悦奥川	0.6	ND	ND	ND
亀山川	1.4	0.9	3.2	1.7
三田川	0.6	ND	ND	ND
男山川	0.7	ND	ND	ND

※ND・・・定量下限値(0.5)未満

きれいな河川を維持しましょう

取を行っているNPO団体の自然を守る会に賛同し、役場の各庁舎に回収ボックスを設置しています。大きじ1杯の天ぶら油を下水に流すと、浴槽10杯分以上の水で薄めなければ魚が住める水質に戻らないと言われていて、環境保全のためにも、ぜひ回収ボックスをご利用ください。



天ぶら油回収ボックス
各庁舎に設置

ボックスの扉を開いて、天ぶら油を入れた容器をそのまま置いてください。

お悔やみ (敬称略)

町内に配布している
広報誌には掲載しています

おめでとう (敬称略)

町内に配布している
広報誌には掲載しています

まちのうごき

平成28年12月末現在

人口 22,640人 (-17)

男 10,784人 (-7)

女 11,856人 (-10)

世帯数 9,108戸 (-8)

※括弧内は前月比

※この欄で紹介する出生とお悔やみは、12月16日から1月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。

健康課 ☎43・9030

正しい住民登録をお願いします

住民登録は、氏名、生年月日、性別、住所、世帯主との続柄などが記録され、国民健康保険、国民年金、児童手当、選挙人名簿への登録など各種行政サービスの基礎となっています。

行政サービスを確実に受けられるようにするために、就職・転職・入学等などにより住所を移した方は、速やかに住民登録の届出を行ってください。また、現住所で住民登録をしていない方や登録を抹消されたままの方は、正しい住民登録が必要となります。詳しくは住民環境課へご相談ください。

健康課 ☎43・9010

平成29年度工業統計調査員の募集

応募資格 ▼警察官、徴税関係の事務従事者でない方 ▼選挙に直接関係のない方 ▼秘密を厳守し責任をもって調査事務を遂行できる方 ▼暴力団員その他の反社会的勢力に該当しない方 ▼原則20歳以上の方

内容 指定された調査区の対象事業所を訪問し、調査票の記入依頼を行い、指定された事務要領に基づき内容を確認のうえ役場に提出
従事期間 5月中旬～7月中旬

募集人員 10名(応募者多数の場合抽選)

報酬 国が定める調査員報酬を調査件数等に応じて支払い
☎・☎ 2月28日までに総務課へ

上下水道課 ☎43・9031

水道メータ検針員の募集

応募資格 ▼与謝野町内在住者 ▼業務時の移動手段を確保できる方 ▼心身とも健康な方

募集人員 1名
業務内容 委託業務として、指定の期間内(毎月1日～10日)に町が指定する地域の水道メータ検針を行い、検針器から発行される「検針お知らせ票」を各戸へ配布
業務地 上山田・下山田・石川地内
採用時期 4月1日から業務委託契約を予定 ※委託期間は平成30年3月31日まで

☎・☎ 2月28日(火)午後5時までに上下水道課へ

企画課 ☎43・9015

「子ども町長会」の開催について

日時 2月27日(月)午後12時半～1時半
場所 元気館
内容 ランチミーティング形式で町政全般について、きたんのない意見を伺います ※要望や陳情の場ではありません

場ではありません

対象 町在住または在勤する方で構成された団体・個人(先着順)
☎・☎ 2月23日(木)午後5時までに企画財政課へ

平成29年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ募集

内閣府男女共同参画局では平成29年度男女共同参画週間のキャッチフレーズを募集しています。テーマ 女性も男性も、自らの意思により個性と能力を発揮して活躍できる職場を作るためのキャッチフレーズ

応募方法 2月28日(火)までに内閣府男女共同参画局サイトのキャッチフレーズ募集ページから「応募ください。」(応募作品は未発表・自作のもの)
http://www.gender.go.jp/public/week/week.html

企画課 ☎43・9012

インバンド受入サービス向上セミナーについて

海の京都DMOでは、外国人をはじめ多くの旅行者に当エリアでの旅を楽しんでいただけよう、インバンドについて基礎から楽しく学ぶセミナーを開催します。
日時・場所

■福知山会場：市民交流プラザふくちやま、3月14日(火)

■与謝野会場：与謝野町立中央公民館、3月15日(水) ※両会場共午後1時半～4時半

対象 海の京都エリアで観光・宿泊施設、物販飲食店に従事されている方、インバンドに興味のある方
募集人数 各会場50名(先着順)
☎・☎ 3月3日(金)までに海の京都DMOへ ☎68・5055

農務課 ☎43・9023

京野菜・京の花栽培経営相談会

販売農家の方を対象に京野菜・京の花栽培経営相談会を開催します。興味のある方はお気軽に会場へください。

日時・場所
■京丹後会場：アグリセンター大宮 2月21日(火)

■宮津・与謝会場：知遊館、2月23日(木) ※両会場共、午後1時～3時

農政局から農業者の方へお知らせ

青色申告は、経営を客観的につかむための重要なツールで、税制上のメリットもあります。青色申告を始めるには、個人の場合、3月15日までに、最寄りの税務署に「青色申告承認申請書」を提出してください。

必要があります。なお、農林水産業・地域の活力創造本部において、青色申告を行っている農業者を対象とした「収入保険制度」の導入が決定されました。

☎ 近畿農政局地方参事官室 ☎075・414・9015

農業座談会の開催

農業座談会を開催します。都合の良い日に参加ください。

日時・場所
■元気館：2月20日(月)

■野田川わくばる：2月21日(火) ※両会場共、午後1時半から

福祉課 ☎43・9021

FUKUSHI就職フェアの開催

平成30年3月卒業生を対象とした京都最大規模の福祉関連合同就職説明会を開催します。

日時 3月3日(金) 正午～午後5時
会場 メルパルク京都
☎ 福祉職場就職フェア実行委員会 ☎075・252・6297

保護課 ☎43・9022

「親子ふれあい体操教室」参加者の募集

親子ふれあい体操教室を開催します。
日時・場所 2月18日(土) 午前

10時～11時半、知遊館
講師 家谷美穂子氏(健康運動指導士)
定員 20組程度(3歳～4歳児とその保護者、親子で1組)
持ち物 タオル、飲み物
☎・☎ 2月16日の正午までに保健課へ

平成28年度風しん予防接種助成事業への申請について

「先天性風しん症候群」の発生を未然に防ぐために接種する風しん予防接種に対して、費用助成を実施しています。申請締め切りは3月末までとなっていますので次に該当される方は早急に申請してください。

助成対象者

与謝野町に住所を有する方で、今まで一度も風しんに罹患しておらず、風しんに係る予防接種を受けたことのない方で、①の要件を満たす②または③の方
①京都府内の保健所および風しん抗体検査実施医療機関において抗体検査を受け、抗体価が低かった方
②妊娠を希望している女性
③抗体価が低い妊婦の同居者(配偶者等)

助成期間 平成28年4月1日から

平成29年3月31日に受けた風しん予防接種に助成します。
助成金額 接種に要した金額の2/3を助成(生活保護世帯および町民税非課税世帯は全額を助成)
☎・☎ 3月31日(金)までに保健課へ、お問い合わせのうえ、お申し込みください。

子育て応援課 ☎43・9024

平成29年度高校生給付型奨学金等の支給申請について

京都府では、市町村民税が非課税世帯の子の高等学校等への進学を促進し、修学を支援するため、高校生給付型奨学金等支給事業を実施しています。

支給対象者

町民税非課税世帯で、高等学校等に修学し、次のいずれかに該当する世帯
①母子・父子世帯(配偶者のいない母または父と20歳未満の者のみで構成する世帯、母子または父子と65歳以上の者で構成する世帯)
②児童世帯(父母のいない20歳未満の者で構成する世帯)
③障害者世帯(父母のどちらかが身体障害者手帳3級以上)
④長期療養者世帯(父母のどちらかが6カ月以上の入院等)

子育て応援課 ☎43・9024

支給金額
■入学支度金
▼国公立：6万3千円
▼私立(全日制)：17万8千円
▼私立(定時制)：13万7千円
▼通信制：4万5千円
※一人一回入学時のみ
■支援金 年額6万円(新1・2年生は、国の支援金額と併給調整されます)
■奨学金 特別支援学校高等部、他府県の私立高校等制限や併給調整があります。
※新1年生は、入学を見込んで申請してください。申請に必要な書類は、子育て応援課にあります。
☎・☎ 2月28日(火)までに子育て応援課へ、お問い合わせのうえ、お申し込みください。

「ひとり親家庭を励ます知事と新入学児童等のつどい」参加者募集
今春、小学校に入学する児童のいるひとり親家庭を対象に、府知事とのレクリエーション、記念品贈呈等が行われます。

日時 3月12日(日) 午前10時半～午後2時半
場所 京都アルサ
☎ 詳しくは、丹後保健所福祉室へ、お問い合わせください。 ☎0772・622・4302

子育て応援課 ☎43・9020

農耕用車両のナンバー登録について
乗用装置のある農耕用車両(トラクター、コンバイン、田植機など)はナンバー登録を行う必要があります。次の車両をお持ちの方は登録をお願いします。
■登録が必要な車両
乗用装置がある農耕用車両で、時速35km未満のもの
※注意点
▼公道を走行しない車両でも、登録が必要です。
▼車両を所有していれば、使用していなくても登録が必要です。
▼登録は義務であり、不申告の場合3万円以下の過料が科せられる場合があります。

必要書類
①販売証明または譲渡証明
②登録者印鑑
③廃車証明
※③については個人間譲渡の場合に限る

☎・☎ 税務課(登録受付窓口)
京都地方税機構から不動産インターネット公売のお知らせ

京都地方税機構では、インターネットオークションにより不動産公売の入札参加の申し込みを受け

保護課 ☎43・9022

付けます。
申込期間 2月15日(水)午後1時～2月27日(月)午後11時
入札日 3月6日(月)午後1時～3月14日(火)午後1時
公売予定物件等に関しては、京都地方税機構のホームページをご覧ください、お申し込み後に京都地方税機構丹後地方事務所へ連絡をお願いします。
☎ 詳しくは、京都地方税機構丹後地方事務所へ、お問い合わせください。 ☎68・1041

保護課 福祉課
「今月の納期」のお知らせ
2月28日(火)は国民健康保険税(第9期)へ介護保険料(第9期)の納期です。2月20日頃までに国民健康保険税および介護保険料に係る納付書を発送します。
※納税には便利な口座振替をご利用ください。

その他
知遊館講座作品展のお知らせ
平成28年度知遊館講座「絵手紙」「書道」「編み物」受講生の作品を展示します。

開催期間 3月3日(金)～3月26日(日) 午前9時～午後5時
☎ 知遊館まで ☎46・2451

保護課 ☎43・9022

PHOTO
TOPICS

アベリスツイス交流事業

～高校生派遣事業～ 滞在記録



今回で12回目となるアベリスツイスへの高校生派遣。多くの人々と出会い、ウェールズ・アベリスツイスの文化・歴史を学び“友好の絆”を深めることができました。

アベリスツイスでの主な行程

- 10/23 与謝野町出発
- 10/24 アベリスツイス到着
- 10/25 ホストファミリーとの顔合わせ
- 10/26 マーケット見学・テレビ取材
- 10/27 S L 乗車体験、城跡見学
- 10/28 国立資料館、アベリスツイス大学見学、歓迎レセプション
- 10/29 故フランク・エバンス氏のお墓参り
- 10/30 ホストファミリーと交流
- 10/31 ペンウェディグ校で交流
- 11/ 1 プライマリースクール、ペングライス校で交流
- 11/ 2 日本へ向け出発
- 11/ 3 与謝野町到着



1



2



3



4



5



6



7



8



9

1. 国立資料館にて故フランク・エバンス氏と旧加悦町の人達が交わした手紙が大切に保管されていました 2. 柴田和佳さんとホストファミリーのカーリー家でのスナップ写真 3. 森本このみさんとホストファミリーのレベッカ 4. S L に乗車し移動する松田開智さんとホストファミリーのみなさん 5. アベリスツイス大学旧校舎前で記念撮影 6. 堀江真衣さんとホストファミリーのバットソン 7. 三田暁さんとホストファミリーのエファとケイト 8. 海岸で楽しくおどける内田大雅さんとホストファミリーのショーン 9. ホストファミリーのダニエルたちとの楽しいひととき

